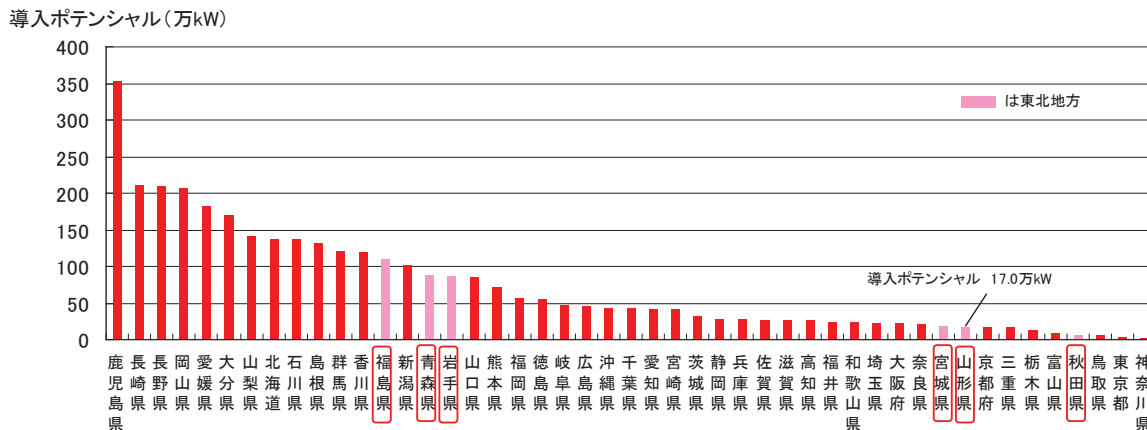


3. 太陽光発電の活用可能性調査

3.1 太陽光発電に関する動向整理

(1) 国内の動向

都道府県別の太陽光発電の導入ポテンシャル（低・未利用地および耕作放棄地における導入ポテンシャルの合計）を比較すると、山形県の導入ポテンシャルは17.0万kWであり、全国39番目のポテンシャルとなっている（図3-1）。



資料：導入ポテンシャル：環境省「平成22年度再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査」

図3-1 都道府県別の太陽光発電導入ポテンシャルと導入率

太陽光発電のうち、特に出力1,000kW以上のものはメガソーラーと呼ばれている。近年、電力会社や公共の未利用地を利用したメガソーラーの計画・建設が全国各地で相次いでいる（表3-1）。

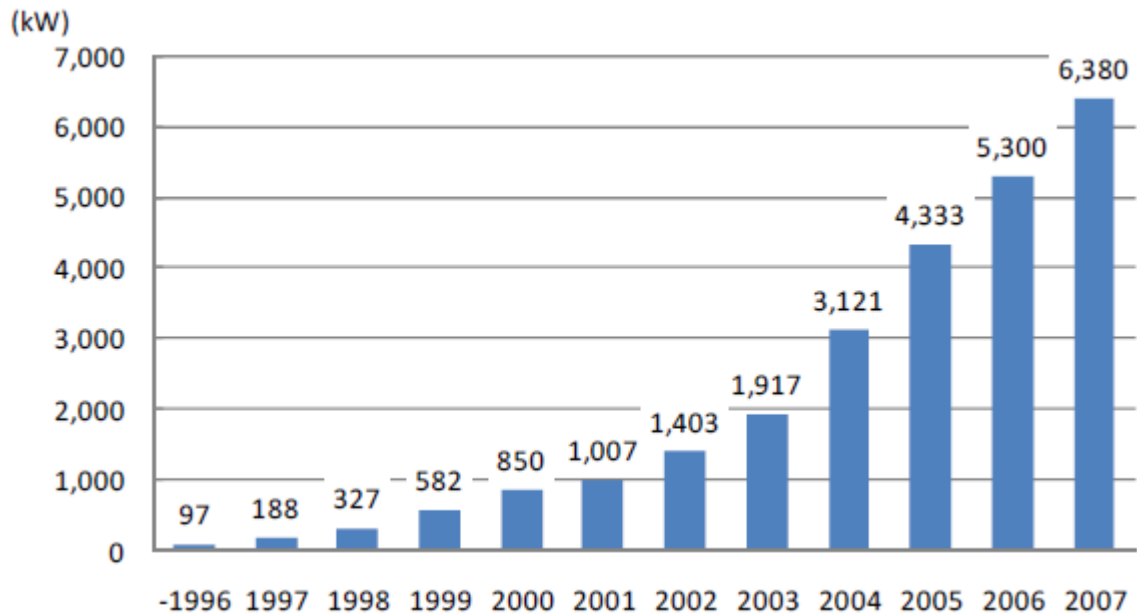
表3-1 電力会社によるメガソーラー発電計画（2010年12月現在）

電力	地点数	概算導入量(千kW)	既運用量(千kW)	運開時期	備考
北海道	1	1		2011年度	伊達火力発電所構内に建設
東北	3	1.5		2011年度	八戸火力発電所（青森県）構内に建設
		2		2011年度	仙台火力発電所（宮城県）構内に建設
		1		2013年度	原町火力発電所（福島県）構内に建設
東京	3	7		2011年度	神奈川県川崎市に建設（川崎市所有地）
		13		2011年度	神奈川県川崎市に建設（自社所有地）
		10		2011年度	山梨県甲府市に建設（山梨県所有地）
中部	3	7.5		2011年度	武豊火力発電所（愛知県）構内に建設
		1		2010年度	長野県飯田市に建設（飯田市所有地）
		8		2014年度	静岡県静岡市に建設（自社所有地）
北陸	4	1		2010年度	石川県志賀町に建設（自社所有地）
		1		2010年度	富山県富山市に建設（富山市所有地）
		1		2012年度	石川県珠洲市に建設（自社所有地・珠洲市所有地）
		1		2012年度	福井県坂井市に建設（自社所有地）
関西	2	10	3	2010.10 2011年度	堺太陽光発電所の一部が完成
		18		未定	大阪府堺市に建設（シャープとJV）
中国	1	3		2011年度	広島県福山市に建設（自社所有地）
四国	1	4.3	2	2010.12	松山太陽光発電所の一部が完成
九州	1	3	3	2010.11	メガソーラー大牟田発電所が完成
沖縄	1	4	4	2010.10	宮古島メガソーラー実証研究設備が完成
計	20	98.3	12		

資料：電気事業連合会資料

(2) 山形県内の動向

山形県内には 2007 年 1 月現在、設備容量にして計 6,380kW の太陽光発電所が導入されており、順調に増加傾向にある。



資料：山形県「山形県「緑の分権改革」推進事業委託業務 調査報告書」(元データは財団法人新エネルギー財団)

図 3-2 山形県における太陽光発電の導入状況

山形県内の主な太陽光発電の導入状況を表 3-2 に示す。県内では主に公共施設の屋根・屋上への小規模な太陽光発電の導入例が多く、出力 1,000kW 超のメガソーラーの導入実績は、2011 年 3 月現在、皆無である。

表 3-2 山形県内における主な太陽光発電の導入状況

市町村	名称	出力
金山町	グリーンバレー神室	10 kW
東根市	さくらんぼタントクルセンター	20 kW
山形市	第一小学校	10 kW
	エスモレス	10 kW
	西公園	40 kW
米沢市	九里学園高校	10 kW
南陽市	赤湯小学校	10 kW
長井市	長井工業高校	10 kW
鶴岡市	みずばしょう	40 kW
	東北公益文科大学	30 kW
酒田市	東北公益文科大学	250 kW
	上田コミュニティー防災センター	15 kW
	光が丘公園	10 kW
	港南学区コミュニティーセンター	10 kW
遊佐町	稲川小学校	10 kW
計		485 kW

注) ここでは主に公共施設の導入実績を挙げており、この他にも民間での導入例が存在する。

資料：山形県「平成 22 年版 環境白書」

3.2 太陽光発電の活用可能性の検討方法

山形県内におけるメガソーラー発電所（1,000kW以上）の候補地を抽出するにあたり、県内各地のまとまった公共保有の遊休地等の状況を効率よく調査し、なおかつ管理機関による太陽光発電事業の実施・誘致に対する意向・条件等も調査するため、国土交通省の関係事務所、県庁内関係課、市町村に対して公共保有の遊休地等の状況を把握するアンケート調査を行った。

(1) 調査方法

1) 調査項目

アンケート調査の調査項目は表 3-3 のとおりである。

表 3-3 調査項目一覧

調査項目	詳細
事業候補地の有無	メガソーラー発電事業の候補地の有無
土地概況	地積、地目、現況利用等
地形条件等	傾斜、受光障害の有無等
土地利用規制	用途地域、その他法規制
土地提供条件	形態、価格、期間等
調査結果の取扱い	公表の可否、照会先
管理機関の意向・条件	発電事業の実施・誘致に対する意向・条件

2) 調査対象

アンケート調査の調査対象は、国土交通省の関係事務所1ヶ所、県の関係課6ヶ所、県内の市町村35ヶ所の計42ヶ所の機関や部署とした（表 3-4）。

表 3-4 調査対象一覧

区分	調査対象	備考
国	国土交通省 酒田港湾事務所	港湾施設
県	総務部 管財課	県有未利用地等
	生活環境部 循環型社会推進課	最終処分場
	商工観光部 工業振興課産業立地室	工業団地
	県土整備部 空港港湾課	空港港湾施設
	県土整備部 下水道課	下水処理場
	企業局 公営事業課	浄水場
市町村 (計 35) ※	管財課	市町村有未利用地等
	環境部局	処分場等
	水道部局	浄水施設等
	下水道部局	下水施設等
	教育部局	学校等

※市町村各部署への調査は、環境担当課を経由して実施。

3) 送付方法

調査票のほか、アンケート回答方法等を記した留意事項を添付して、郵送またはメールにて送付した。

(2) 調査結果

1) 回収状況

全 42 ヶ所のうち、39 ヶ所から有効回収できた（有効回収率：92.9%）。

2) 集計結果と候補地の抽出

有効回収できた 39 ヶ所のうち、14 の機関から計 28 地点が挙げられた。これら 28 地点の中から、以下の条件にてメガソーラー発電の候補地として抽出した。

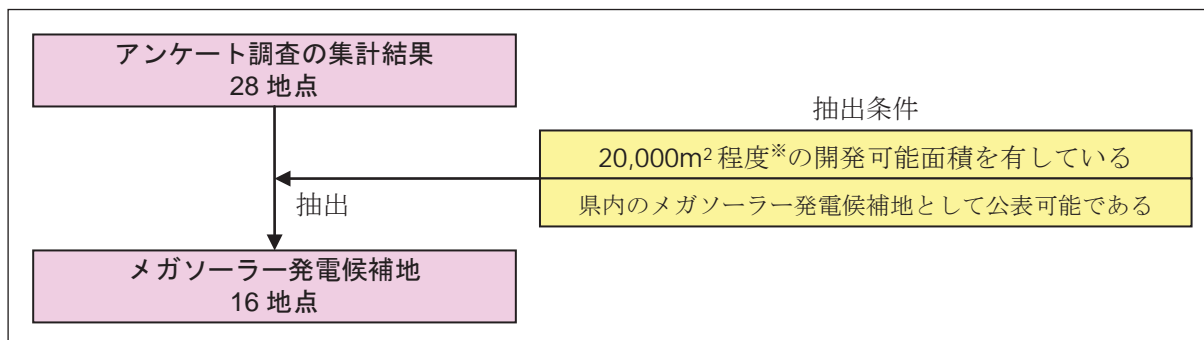
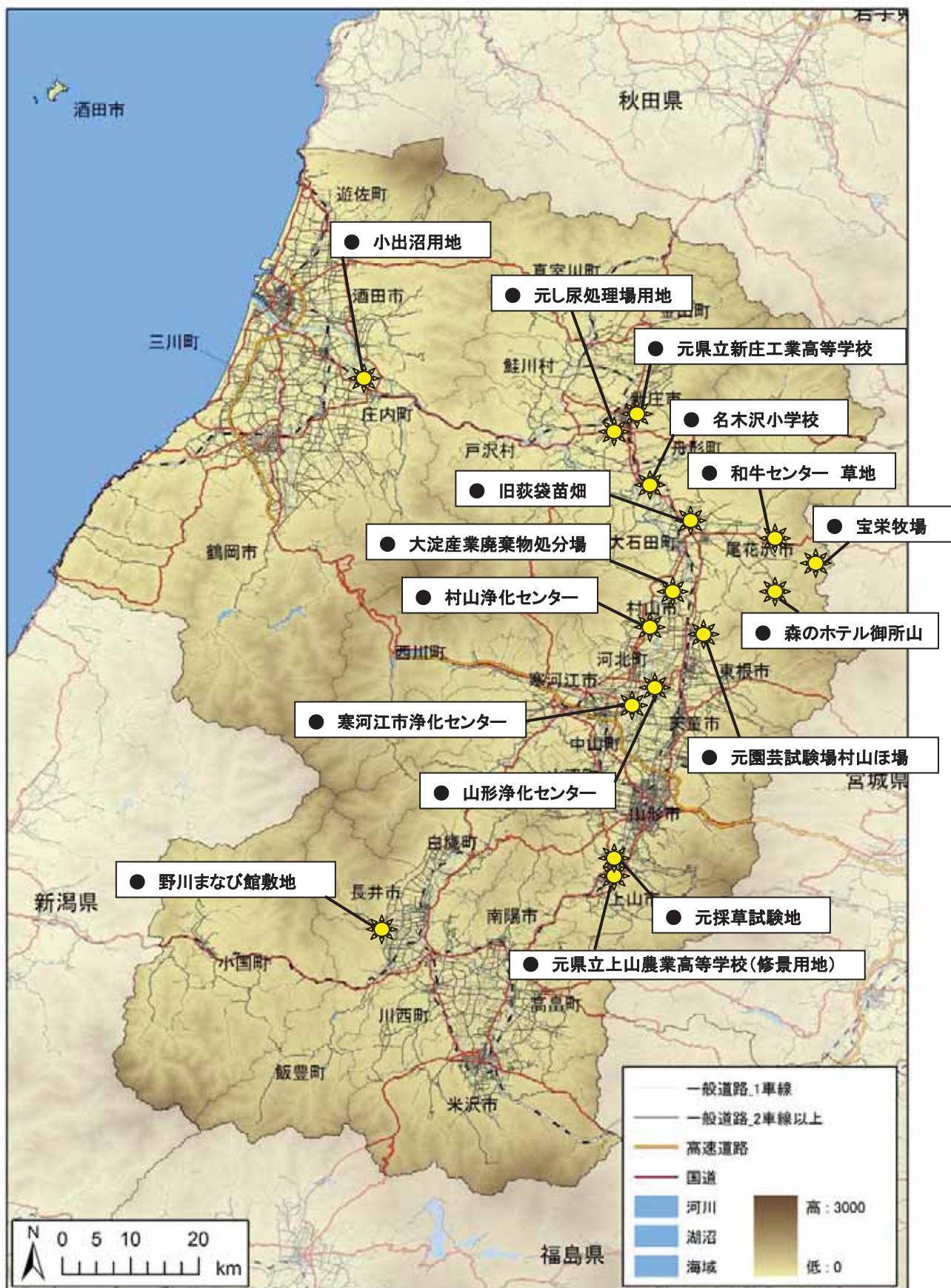


図 3-3 メガソーラー発電の候補地抽出フロー

※ 社団法人日本電機工業会「公共用・産業用太陽光発電システム計画ガイドブック」より、メガソーラー発電所の条件である出力 1MW を得るのに必要な敷地面積を 20,000m²とした。

上記条件により抽出した結果、9 の機関から挙げられた計 16 地点をメガソーラー発電の候補地として抽出した。

抽出された発電候補地の県内マップを図 3-4 に、集計結果一覧を表 3-5～表 3-7 に示す。



※背景地図は、国土地理院の「基盤地図情報 (10m メッシュ数値標高モデル)」、日本スーパーマップ株式会社の「SuperBaseMap25000」を元に作成したものである。

図 3-4 メガソーラー発電所候補地の県内マップ

表 3-5 メガソーラー開発候補地リスト

NO.	回答者	名称	所在地	カテゴリー	地種 (㎡)	地目1	地目2	地目3	現況利用の有無	(ありの場合)	所有区分	所有者名	傾斜の状況	斜面向き	造成地の必要性	周辺の受光障害物	接道の状況	線引き	用途地域	その他の土地利用規制	土地提供の形態	売却/貸付の価格 (円/㎡)	提供可能期間 (年)
1	管財課	元県立上山農業高等学校(修景用地)	上山市弁天二丁目535-1外	公有未利用地	44,320	学校用地			あり	上山市に貸付中	県有地	山形県	全体に緩傾斜あり	東向き	あり	山陰	大型車両通行可	市街化区域	第一種住居地域	売却	時価		
2	管財課	元県立新庄工業高等学校	新庄市大字金沢字南沢1446-8外2	公有未利用地	43,419	学校用地			あり	サッカーグラウンドとして新庄市に貸付中	県有地	山形県	一部に緩傾斜あり	西向き	あり	山陰	大型車両通行可	市街化区域	第一種中高層住居専用地域	売却	時価		
3	管財課	元園芸試験場村山ほ場	村山市桶岡苗田三丁目5642-1外	公有未利用地	33,291	畑			なし		県有地	山形県	全体に緩傾斜あり	西向き	あり	山陰	大型車両通行可	市街化区域	市道を挟んで2画地で構成	売却	時価		
4	循環型社会推進課	大淀産業廃棄物処分場	村山市大字大淀字ウラ896	最終処分場	41,619	山林			あり	排水処理施設(約150)	民有地	株式会社キヨスミミ産研	全体に緩傾斜あり	東向き			大型車両通行可						
5	下水道課	山形浄化センター(流域下水道山形処理区)	天童市大町	下水施設	58,000				なし		県有地	山形県知事	平坦	斜なし	あり		大型車両通行可	市街化調整区域		未定			
6	下水道課	村山浄化センター(流域下水道村山処理区)	村山市大久保	下水施設	40,000				なし		県有地	山形県知事	平坦	斜なし	あり		大型車両通行可	非線引区域		未定			
7	山形市	元稲草試験地	山形市大字松原字原4200-4外	公有未利用地	27,486	雑種地			なし		市有地	山形市	一部に緩傾斜あり	南東向き	あり		大型車両通行可	市街化調整区域		未定		無期	
8	新庄市	(元)し尿処理場用地	新庄市大字仁間字野原297-6	公有未利用地	27,597	雑種地	宅地		一部あり	敷地内の一部(4,694㎡)については、3法人と単年度の賃貸借契約を締結しており、さらに旧施設の建物もあり。	市有地	新庄市	平坦	斜なし	あり	樹木	大型車両通行可	非線引区域		未定	売却については近傍価格を参考に適正な時価による。貸付は固定資産評価額に4%を乗じた価格。		
9	寒河江市	寒河江市浄化センター	寒河江市大字日田字前野200	下水施設	24,600	宅地	田		なし		市有地	寒河江市	平坦	斜なし	あり		大型車両通行可	非線引区域		未定	市の規定による		
10	長井市	野川まなび畜産地	長井市平山2743-4	公有未利用地	26,698(うち約3,000はまなび畜産地として使用中)	雑種地	原野	山林	一部あり	一部をまなび畜産、同駐車場として利用	市有地	長井市長	平坦	斜なし	なし	山陰	大型車両通行可	都市計画区域外	長井市景観条例	未定			
11	尾花沢市	和牛センター草地	尾花沢市母袋932ほか	公有未利用地	約550,000	牧場			なし		市有地	尾花沢市第3財産区	全体に緩傾斜あり	南向き	なし		大型車両通行可	都市計画区域外	農振法(農用地区域)	未定			
12	尾花沢市	旧萩袋苗畑	尾花沢市大字萩袋1287-16	公有未利用地	22,399	雑種地			なし		市有地		平坦	斜なし	なし		大型車両通行可	都市計画区域外		未定			
13	尾花沢市	宝栄牧場	尾花沢市大字上柳渡戸字宝沢栗師山1471-1ほか	その他(放牧中)	約900,000	牧場			あり		市有地		全体に緩傾斜あり	南東向き	なし		大型車両通行可	都市計画区域外	農振法(農用地区域)	未定			
14	尾花沢市	森のホタル御所山丘陵地(斜面など)	尾花沢市大字鶴岡子1300-27	その他(農業体験施設敷地面など)	約50,000	雑種地			一部あり		市有地		全体に緩傾斜あり	北向き	なし		大型車両通行可	都市計画区域外		未定			
15	尾花沢市	名木沢小学校	尾花沢市大字名木沢855	学校	15,798				あり	H25統合により廃校予定	市有地		平坦	斜なし	なし		大型車両通行可	都市計画区域外		未定			
16	庄内町	小出沼用地	庄内町小出新田字中割139他45番	公有未利用地	約45,000	池沼	原野	雑種地	なし		町有地		凸凹あり	斜なし	あり		大型車両通行可	都市計画区域外		未定			

表 3-6 発電事業の実施・誘致に対する意向や条件等

区分	所属	メガソーラー発電事業の実施・誘致に対する意向や条件等
県	下水道課	第3者が当該地にて発電事業として実施する場合、処理場用地について適化法に基づく手続き(譲渡又は貸付)に一定の期間を要する。
市町村	長井市	(地点 No.10 は)長井ダム建設のためのJV事務所宿舎などがあつた土地である。現在は市の用地であり、JV事務所宿舎は解体されきれいに整地されているので、条件は整っていると考えられる。また、そばに流れる1級河川置賜野川を活用した小水力発電や、西山からの風も強い場所であるため風力発電の可能性など、総合的な再生可能エネルギーの候補地としても調査できれば大変ありがたい。さらに、この敷地には長井ダムのインフォメーションセンターとして建設された「野川まなび館」があり、この施設を活用し現在はNPO法人が「水」に関する専門的な蔵書を所有し一般開放している。今後は自然エネルギーに関するまなびの館としても活用できる可能性がある。
	尾花沢市	具体的な事業化については、経済性、対応事業、地元関係者の意向などを確認しつつ検討する必要がある。
	庄内町	(地点 No. 16 は)町管理の遊休地である。草刈り等を実施しているので、有効活用していただければありがたい。

表 3-7 自由意見

区分	所属	自由意見
市町村	長井市	雪による影響はどのようなものか。既に実施している、新潟や北海道の実例(実績)を紹介いただきたい。 なお、導入コスト面等の見通しがつけば敷地内にある「野川まなび館」施設運用の光熱費をまかないたいと考えている。

3) 集計結果のまとめ

アンケート調査によるメガソーラー発電候補地の地点数及び想定出力を地域及び地点の
 カテゴリー別にクロス集計した結果を表 3-8 に示す。

表 3-8 メガソーラー発電候補地の内訳

上段：総出力(MW)、下段：地点数

	公有未利用地	下水施設	学校	最終処分場	その他	合計
最上地方	3.6 (2)	—	—	—	—	3.6 (2)
庄内地方	2.3 (1)	—	—	—	—	2.3 (1)
村山地方	33.4 (5)	6.1 (3)	0.8 (1)	2.1 (1)	47.5 (2)	89.9 (12)
置賜地方	1.2 (1)	—	—	—	—	1.2 (1)
全県	40.5 (9)	6.1 (3)	0.8 (1)	2.1 (1)	47.5 (2)	97.0 (16)

※ 発電出力は、各候補地の面積 20,000m²あたり 1MW として算出した。

※ 「その他」には、財産区財産、牧草地、農業体験施設、町道隣接地、農地等が含まれる。

今回、メガソーラー発電の候補地として挙げられた地点は計 16 点で、うち村山地方が 12 点と、ほとんどを占めた。また、カテゴリー別では、公有未利用地が 9 地点と最も多く、次いで下水施設の 3 地点となった。

想定出力では、16 地点の合計が 97.0MW となった（面積に換算すると、約 2,000,000m²相当）、このうち、村山地方が 89.9MW とほとんどを占めたが、これは尾花沢市の「和牛センター 草地」および「宝永牧場」の面積が他の地点と比較して非常に大きいことによる。カテゴリー別では、上記 2 地点を除くと下水施設で比較的大きな出力が得られる結果となった。

3.3 個票の作成

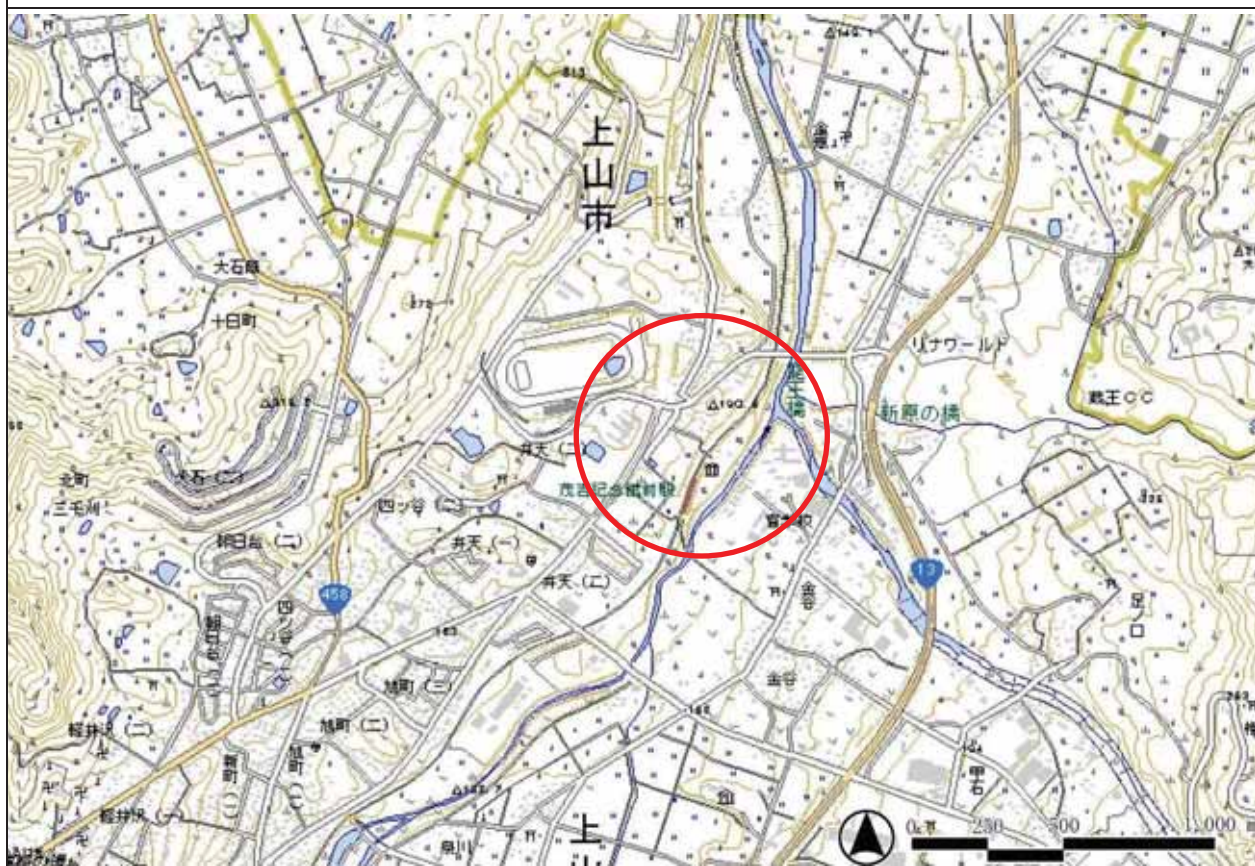
(1) 作成方法

抽出したメガソーラー発電候補地 16 地点における太陽光利用に際しての制約要因となる事項のデータを整理し、現地周辺の地図等とともに個票（地点カルテ）としてとりまとめた。最大可能出力は、「公共用・産業用 太陽光発電システム計画ガイドブック」（平成 13 年、（社）日本電気工業会）より、設置可能面積 20,000m²あたり 1MW として概算的に算出した。

(2) 個票

名称	元県立上山農業高等学校（修景用地）
所在地	上山市弁天二丁目 535-1 外
所有者	山形県
地積	44,320 m ²
地目	学校用地
現況利用の状況	上山市に貸付中
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	全体に緩傾斜あり・東向き
受光障害物	山陰
最大積雪深	50cm（山形気象観測所における 1962 年～2011 年の平均値）
法規制等の状況 （都市計画法等）	市街化区域 第一種住居地域
最大可能出力	2.2 MW
備考	造成整地の必要性あり

現地周辺図



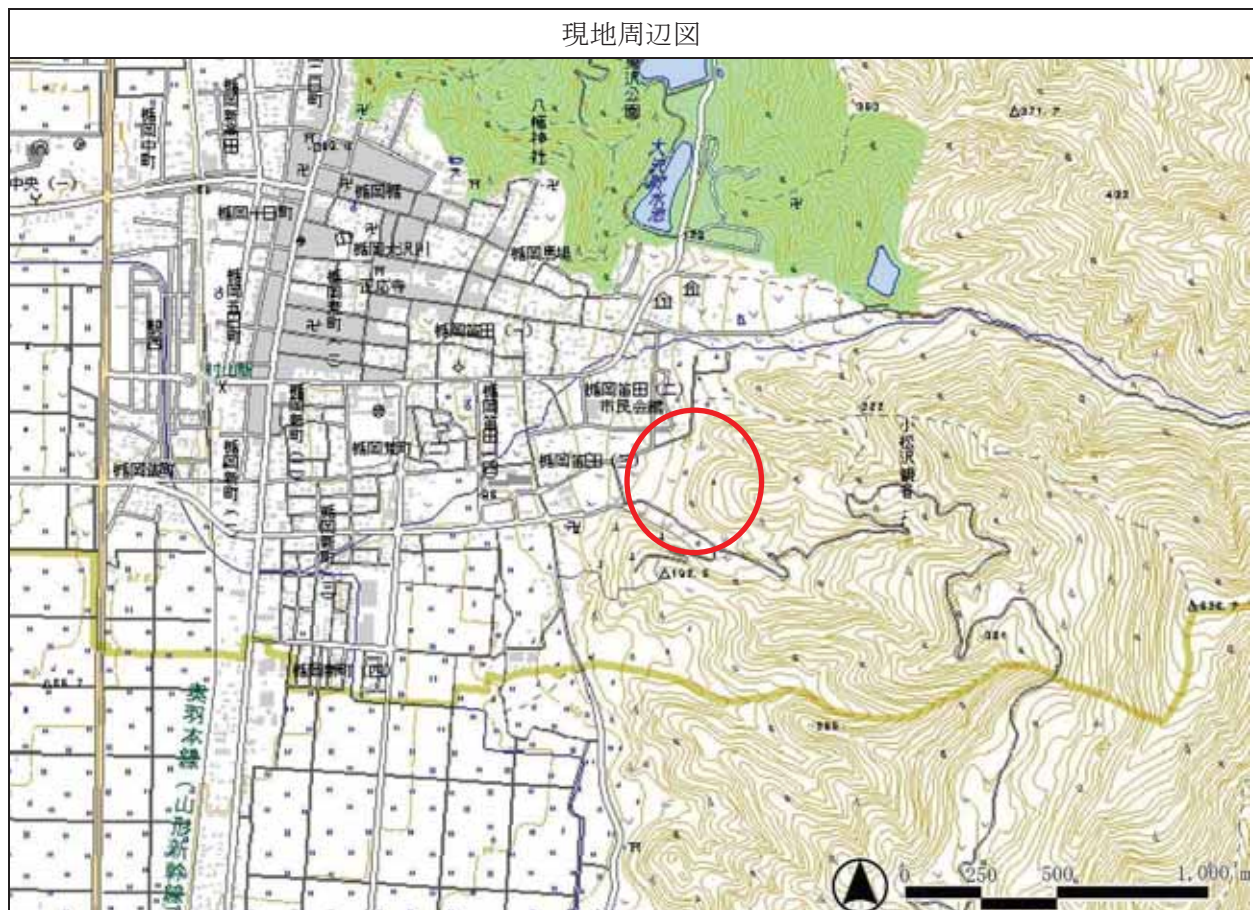
- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	元県立新庄工業高等学校
所在地	新庄市大字金沢字南沢 1446-8 外 2
所有者	山形県
地積	43,419m ²
地目	学校用地
現況利用の状況	サッカーグラウンドとして新庄市に貸付中
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	一部に緩傾斜あり・西向き
受光障害物	山陰
最大積雪深	130cm (新庄気象観測所における 1962 年～2010 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計法等)	市街化区域 第一種中高層住居専用地域
最大可能出力	2.2MW
備考	造成整地の必要性あり



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	元園芸試験場村山ほ場
所在地	村山市楯岡笛田三丁目 5642-1 外
所有者	山形県
地積	33,291m ²
地目	畑
現況利用の状況	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>なし</p> <p>太陽光発電設備</p> <p>稼働済</p> <p>西向き</p> </div>
接道の状況	
傾斜	
受光障害物	
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	市街化区域 (指定無し)
最大可能出力	1.7 MW
備考	造成整地の必要性あり 市道をはさんで 2 区画で構成



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	大淀産業廃棄物処分場
所在地	村山市大字大淀字ウラ 896
所有者	株式会社キヨスミ産研
地積	41,619m ²
地目	山林
現況利用の状況	排水処理施設
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	全体に緩傾斜あり・東向き
受光障害物	-
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	-
最大可能出力	2.1 MW
備考	



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	山形浄化センター（流域下水道山形処理区）
所在地	天童市大町
所有者	山形県知事
地積	58,000m ²
地目	太陽光発電設備
現況利用の状況	稼働済
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	なし
最大積雪深	50cm（山形気象観測所における1962年～2011年の平均値）
法規制等の状況 （都市計画法等）	市街化調整区域
最大可能出力	2.9 MW
備考	第3者が当該地にて発電事業として実施する場合、処理場用地について補助金適正化法に基づく手続き（譲渡又は貸付）に一定の期間を要する。



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

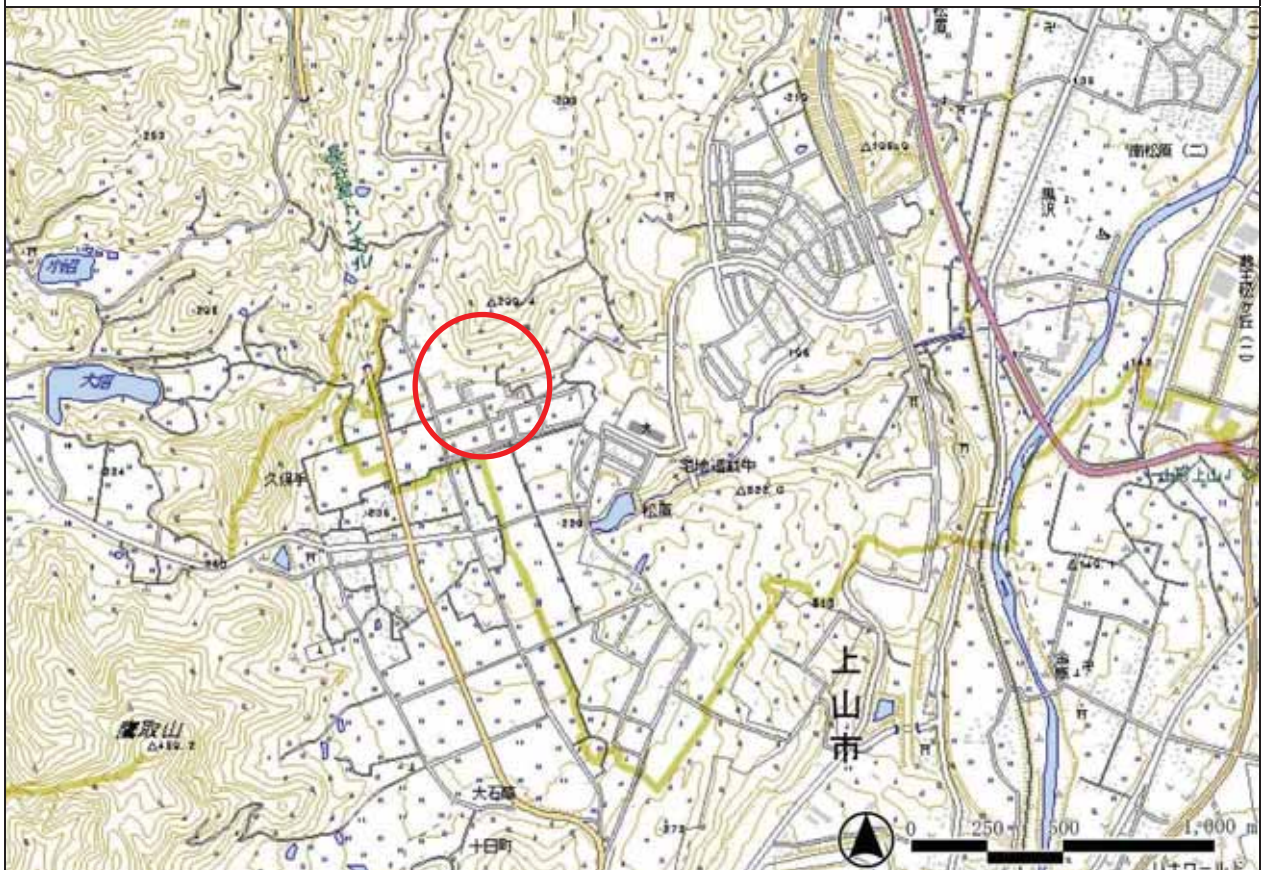
名称	村山浄化センター（流域下水道村山処理区）
所在地	村山市大久保
所有者	山形県
地積	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>40,000m²</p> <p>太陽光発電設備</p> <p>稼働済</p> <p>大型車両通行可能</p> </div>
地目	
現況利用の状況	
接道の状況	
傾斜	斜面無し
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm（尾花沢気象観測所における1984年～2011年の平均値）
法規制等の状況 （都市計法等）	非線引き区域（指定無し）
最大可能出力	2.0 MW
備考	第3者が当該地にて発電事業として実施する場合、処理場用地について補助金適正化法に基づく手続き（譲渡又は貸付）に一定の期間を要する。



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	元採草試験地
所在地	山形市大字松原字原 4200-4 外
所有者	山形市長
地積	27,486m ²
地目	雑種地
現況利用の状況	太陽光発電設備 稼働済
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	一部に緩傾斜あり・南東向き
受光障害物	なし
最大積雪深	50cm (山形気象観測所における 1962 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	市街化調整区域
最大可能出力	1.4 MW
備考	造成整地の必要性あり

現地周辺図



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	[元]し尿処理場用地
所在地	新庄市大字仁間字野際 297-6
所有者	新庄市長
地積	27,597m ²
地目	雑種地・宅地
現況利用の状況	敷地内の一部 (4,694 m ²) については、3 法人と単年度の賃貸借契約を締結しており、さらに旧施設の建物もあり。
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	樹木
最大積雪深	130cm (新庄気象観測所における 1962 年～2010 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	非線引区域
最大可能出力	1.4 MW
備考	売却については近傍価格を参考に適正な時価による。貸付は固定資産評価額に 4 % を乗じた価格。 造成整地の必要性あり



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

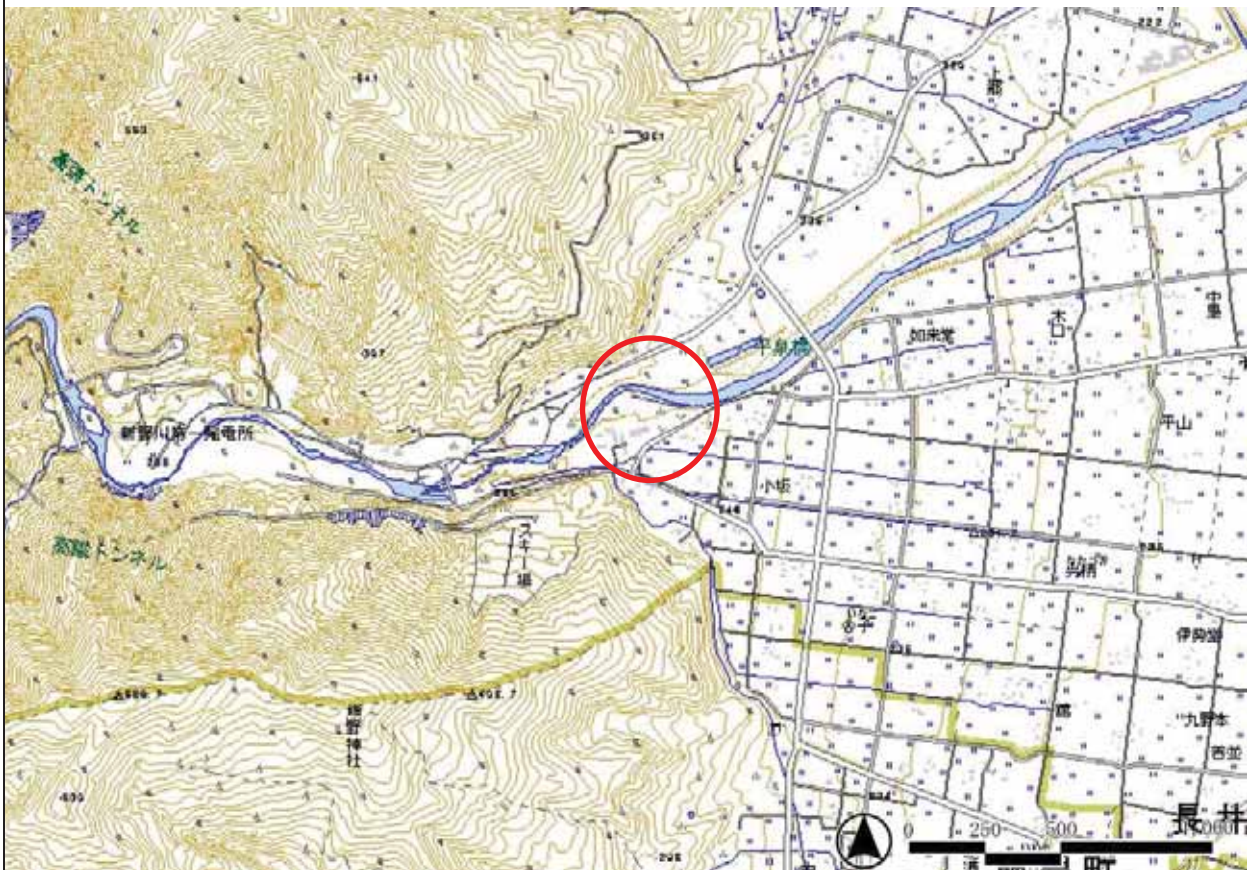
名称	寒河江市浄化センター
所在地	寒河江市大字日田字前野 200
所有者	寒河江市長
地積	24,600m ²
地目	宅地・田
現況利用の状況	太陽光発電設備
接道の状況	稼働済
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	なし
最大積雪深	74cm (左沢気象観測所における 1983 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	非線引区域
最大可能出力	1.2 MW
備考	造成整地の必要性あり



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	野川まなび館敷地
所在地	長井市平山 2743-4
所有者	長井市長
地積	23,698m ²
地目	雑種地・原野・山林
現況利用の状況	一部をまなび館駐車場として利用
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	山陰
最大積雪深	110cm (長井気象観測所における 1983 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外 (500m ² 以上の構造物は要届出：長井市景観条例)
最大可能出力	1.2 MW
備考	長井ダム建設のための建設共同企業体宿舎跡地の活用。

現地周辺図



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	和牛センター 草地
所在地	尾花沢市母袋 932 他
所有者	尾花沢市第 3 財産区
地積	約 550,000m ²
地目	牧場
現況利用の状況	なし
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	全体に緩傾斜あり・南向き
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画外 農振法 (農用地区域)
最大可能出力	27.0 MW
備考	JA 和牛繁殖育成センター内の農振法地域である。



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	旧荻袋苗畑
所在地	尾花沢市大字荻袋 1287-16
所有者	尾花沢市長
地積	22,399m ²
地目	雑種地
現況利用の状況	なし
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外
最大可能出力	1.1 MW
備考	

現地周辺図



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	宝栄牧場
所在地	尾花沢市大字上柳渡戸字宝沢薬師山 1471-1 外
所有者	(尾花沢市)
地積	約 900,000m ²
地目	牧場
現況利用の状況	あり
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	全体に緩傾斜有り・南東向き
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外
最大可能出力	45.0 MW
備考	農振法 (農用地区域)



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	森のホテル御所山
所在地	尾花沢市大字鶴子 1300-27
所有者	尾花沢市長
地積	約 50,000m ² (ただし建築物含む)
地目	雑種地
現況利用の状況	一部あり
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	全体に緩傾斜あり・北向き
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外
最大可能出力	2.5 MW
備考	



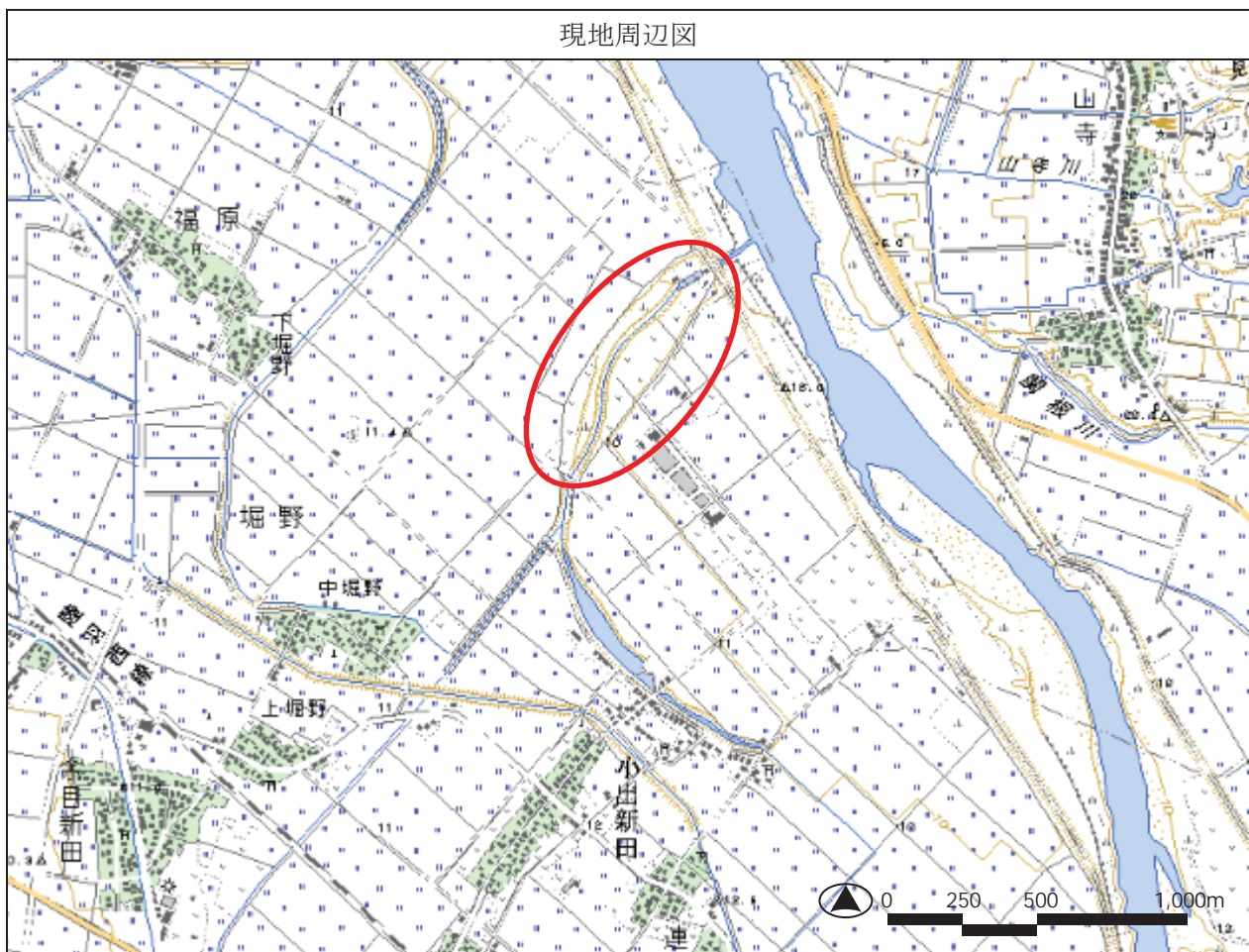
- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	名木沢小学校
所在地	尾花沢市大字名木沢 855
所有者	尾花沢市長
地積	15,798m ²
地目	—
現況利用の状況	学校施設 (H25 年度統合により廃校予定)
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	平坦・斜面なし
受光障害物	なし
最大積雪深	139cm (尾花沢気象観測所における 1984 年～2011 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外
最大可能出力	0.8 MW
備考	H25 年度統合により廃校予定



- ※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。
- ※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。
- ※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。

名称	小出沼用地
所在地	庄内町小出新田字中割 139 他 45 筆
所有者	庄内町長
地積	約 45,000m ²
地目	池沼・原野・雑種地
現況利用の状況	なし
接道の状況	大型車両通行可能
傾斜	凸凹あり・斜面なし
受光障害物	なし
最大積雪深	73cm (狩川気象観測所における 1984 年～2010 年の平均値)
法規制等の状況 (都市計画法等)	都市計画区域外
最大可能出力	2.3 MW
備考	造成整地の必要性あり



※ 地図中の赤い円はおおよその地点であり、実際に導入可能な地点とは異なる場合がある。

※ 最大出力は試算に基づく数字であり、必ずしもこの発電量が得られるわけではない。

※ 背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから提供されたものである。